
玉北

あゆたま

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

玉北

【コード】

N0811Q

【作者名】

あゆたま

【あらすじ】

玉森と北山がなんやかんやw

「たーまーもーりーっ！」

ドサッと藤ヶ家が玉森に後ろからのしかかる。

、、離れるよ藤ヶ家。

イラついた目でその様子を見るのは北山

同じグループの玉森に想いを寄せている。

といっても玉森はそんな事を知るはずもなく。

藤ヶ家とニコニコ楽しそうにじゃれあっている。

、、イライラする。

これ以上あの二人をみてられない、と

部屋を出ようとする北山。

途中で声をかけてくる宮田をいつもの様にスルーし、部屋を出ようとしたとき、

「どーこどーくのっ？みっくたっ」

普段呼ばない名前呼び、肩に手を置いた浮かれている玉森にとめられる。

そんな玉森に、イライラを抑えきれない。

「離せよ、。。」

イライラした目で玉森を見つめると怯んだ玉森の手が離れた。

ごめん、と一言残し北山は部屋を後にした。

玉森、怒ったかな、

なんて考えながら廊下を歩いていると、後ろから自分呼び止める声がある。

振り返ると玉森だった。

、俺を追いかけてきたのか。

と、不謹慎にも心の中で喜んでしまった。

「急にイライラして、どーしたんだよ」

息を少しきらせながら玉森が言う。

何も解ってない玉森に、北山のイライラが頂点に達した。

「お前のことが好きだからだよ!!」

「なのにお前は藤ヶ家とじゃれあってるし、いやでも俺の気持ち知らないからしょうがないけどでもっ、！」

立て板に水の如く玉森に喋る暇も与えないほどに話す北山は今にも泣きそうになっている。

「お前、俺が好きなの、？」

確認するように玉森が聞くと、北山の顔は真っ赤になり、目を丸くして、でもすぐにそっぽ向いてしまった。

好きなんだ、と心の中で確信した玉森は口角を少しあげ、嬉しげな表情で北山に歩みよる。

「きたやまっ」

恥ずかしがって返事をしない北山

「みーっくん？」

後ろから嬉しそつに抱きつく玉森にびっくりした北山は勢いよく振り返る。

ちゅっ

と、北山と玉森の唇が触れた。

北山は更に赤面し、なんで!?!と言いたげに玉森を見つめる。

「だって俺も好きだもん。北山が。」

満面の笑みで北山を見る玉森。

「嘘、だろ、」

「嘘だったらあんなことしないよ、」!

そう言う玉森は少し赤くなり、本来の恥ずかしがり屋な玉森に戻った気がした。

「玉森、」

「北山、」

「とりあえず、場所かえよ?」

へ?とキョトンとする北山に周り。と教える玉森。

周りを見ると他のメンバー全員がいた。

「お前ら、っ!いつから!」

「いや、まさかお前らがな」

「あれ、横尾さん気づいてなかったの?」

「そう言う藤ヶ家は気づいてたのかよ」

と藤ヶ家に聞く千賀。

「あたりまえよ。なっニカ？」

「もち。」

「え〜！お前ら気づいてたの！？俺のタマが〜」

「宮田うざい。笑」

「とゆう訳で俺たち付き合っから」

と、みんなの前で発表する玉森。

応援してるぜ、とみんなからの祝福を受け、2人はその場を後にした。

「まさかお前が俺を好きだとはな。」

廊下を歩きながら北山が言う。

「まーねっ。みっくんは気づいてくれなかったけど。」

わざと悲しげに言う玉森に北山は鼻で笑う。

「今笑ったでしょ。」

「笑ってない」

「いや笑った!」

「笑ってない」

そんな馬鹿なことを言い合いながら立ち止まり、キスを交わした。

「好きだよ、みつくん」

「ばーか」

そう言い合う2人の顔は幸せそうだった。

「ばーか、俺も好きだよ」

玉北END

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0811q/>

玉北

2011年1月16日09時52分発行